



一般質問通告書

佐野市議会議長 様

平成 30年 8月 30日	受理者印
午前 午後	2時 30分 受理 

議会名	平成 30 年 第 3 回 佐野市議会定例会		
発言者	議席番号	12 番	氏名 若田部 治 彦
答弁を求める者 (選択してください)	市長 ・ 副市長 ・ 教育長 ・ 担当部局長		
質問方法 (いずれかを選択してください)	一問一答 ・ 一括質問一括答弁		
大項目(質問項目) 中項目(質問細目)	小項目 (具体的な質問内容)		
1. 地域環境衛生問題について (1) 集合住宅アパートへのゴミ 収集所設置の義務化について	<p>①近年急激に住宅が増加傾向にあり燃えるごみ及び不燃ゴミの排出も増加している。過去にカラス等の被害が多発したため扉つきのゴミステーションを設置している。人口増加によってステーションを数回改修した経緯もあったが、収集日が祭日などと重なると更にステーションに入れられないケースがある。</p> <p>現在、集合住宅アパート等ではすでにゴミステーションが設置済みの個所もあるが、集合住宅アパートへの区域を限定したゴミ収集所の設置義務化ができないか</p>		
(2) イエローチョーク作戦 (犬 のフン害対策) の導入について	<p>①ペットブームでもあり街ではよくペットと散歩をする様子を見る。飼い主にフンや尿を放置しないよう注意喚起するチラシの配布や看板等の設置など対策を行っているが、なかなか効果がみられず、夕方など暗くなると足で踏んでしまったなどの苦情がある。</p> <p>そこでイエローチョーク作戦 (放置されたフンの周りを黄色のチョークで囲み、見つけた日時を書くことで、飼い主が再び訪れた際に自発的に回収するように促すとともに、飼い主のモラル向上を啓発し、フンの放置をなくすことを目的とした取り組み) の導入を提案するが市の見解は。</p> <p>②さまざまなイベント等で周知徹底していくことが飼い主のマナー向上を図れると考えるが、市の見解は。</p>		

<p>(3)ゴミ収集箇所にカメラを設置した場合の補助制度導入について</p>	<p>①現在、市では不法投棄撲滅として監視カメラを設置しているが、これまでの実績はどうなっているのか。</p>
	<p>②地域ではゴミステーションへの不法投棄や粗大ゴミの排出もありゴミ収集箇所へのカメラ設置が必要と思うが、町会の世帯数により交付金が決定するので、町会によっては、運営資金が不足するため、町会独自では購入が出来ない、よって、カメラ設置した場合の補助制度の導入ができないか。</p>
<p>2. 障がい者にやさしい街づくりについて</p>	
<p>(1)エスコートゾーンの設置について</p>	<p>①点字ブロックは視聴覚障がい者が単独で目的地へ安全に行き来することを支援する目的で設置されている。この点字ブロックの突起には移動方向を示す線状タイプと、警告（停止）や注意喚起を示す点状タイプの2種類がある。</p>
	<p>近年、バリアフリーの考え方が推進され、歩道はもとより、駅構内、建物の中、プールなどいろいろな場所で目にするようになった。</p> <p>目的地移動の際、道路横断は避けては通れませんが、これは視覚障害者にとっては極めて困難の大きいリスクとなります。そこで、横断歩道の真ん中に敷かれていて道路横断帯（通称：エスコートゾーン）と呼ばれており、視覚障がい者の道路横断を支援する整備とされているが、本市のエスコートゾーンについての見解は。</p> <p>②今後、市役所（本庁舎、田沼行政センター、葛生行政センター）周辺から設置できないか。</p>
<p>3. 学校にシエスタ（昼寝）を導入することについて</p>	<p>①塾や習い事などの影響で就寝時間が遅い生徒が増えているため、短時間の睡眠でリフレッシュし、午後からの学習の集中力を高められる効果があるシエスタを導入することについての見解は。</p>
	<p>②導入した学校の実績では勉強にやる気が出て成績も向上したと答える生徒が多かったようだが、本市での試験的な導入についての見解は。</p>